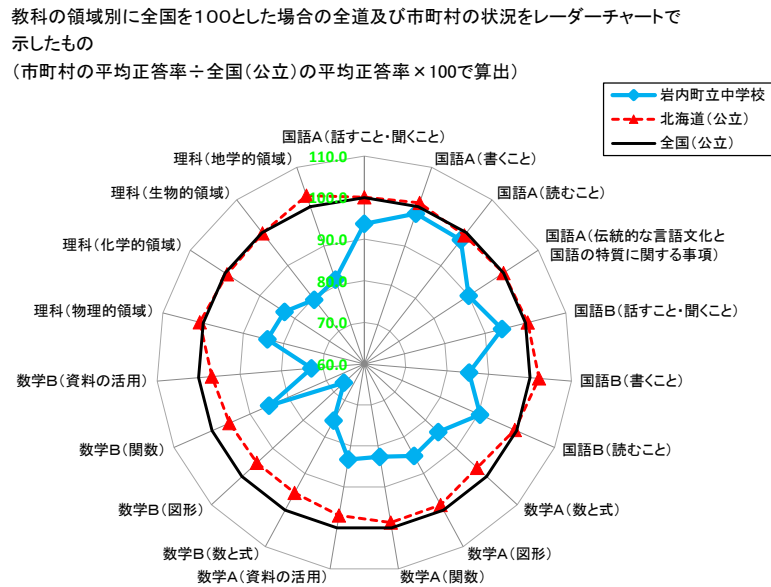
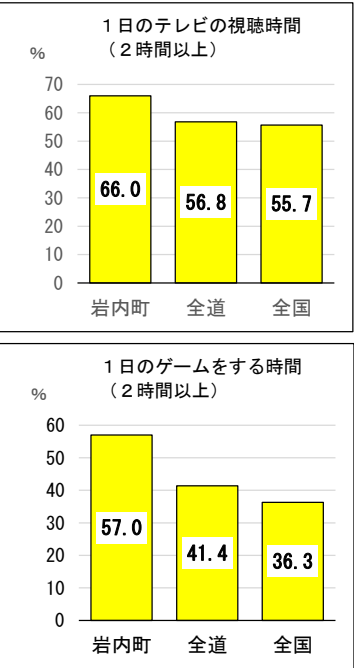


■ 岩内町立中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:99名)

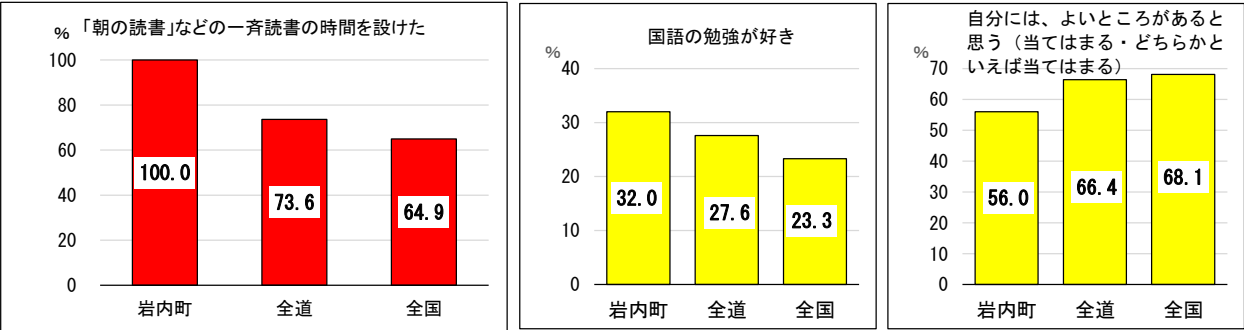
【教科全体の状況】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは「書くこと」、国語Bでは「話すこと・聞くこと」で、他の領域に比べて全国に最も近い。 ○ 数学Aでは「図形」、数学Bでは「関数」で、他の領域に比べて全国に最も近く、数学Bでは図形の証明等の設問で全国及び全道を下回っている。	○ 学校全体で一斉読書の時間を設け、読書に親しむ態度を育むとともに、国語の学習への意欲が高まる授業づくりに努めた結果、「国語の勉強が好き」と回答する生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強が好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 調査結果から、「1日のテレビ及びゲームの時間」が、全国及び全道より長い生徒が多いことから、テレビ及びゲームの時間を減らすなど、望ましい生活習慣の確立が求められる。
学校質問紙	○ 「一斉読書の時間を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【岩内町の学力向上策】

◎ 町広報誌等を活用した教育情報の発信による、学校の教育活動への理解を深める取組 ◎ 計画的な教育環境の整備による、分かりやすい授業づくりの支援 ◎ 複数教員や支援員の継続的な配置による、個々に応じたきめ細かな指導の充実 ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習の充実に向けた支援 ◎ 読書環境の整備等、読書活動の充実を図る取組 ◎ 地域連携による、生徒の学習習慣や生活習慣の向上に向けた取組
